

令和3年度ローカル・ブルー・オーシャン・ビジョン推進事業の 実施について

令和3年5月25日（火）

国内における海洋ごみ対策の一層の推進を図ることを目的とし、地方自治体と企業等が連携した海洋ごみの回収・発生抑制対策等を実効性の高い、持続可能な取組とするため、モデル事業を実施する5自治体を決定しました。今後、これらにより得られた成果・知見等を踏まえ、全国の各地域へ横展開を図ることとしています。

1. 背景・目的

海洋ごみ対策については、美しく豊かな自然を保護するための海岸における良好な景観及び環境並びに海洋環境の保全に係る海岸漂着物等の処理等の推進に関する法律（平成21年法律第82号）等に基づき、回収・処理を始め各種対策が進められてきましたが、今後より一層対策を進めていくためには、企業等の持つ先進的な技術や創意工夫を生かすことが重要であることから、地方自治体と企業等が連携した海洋ごみ対策を支援することとします。

2. 事業概要

自治体と企業等の連携による海洋ごみ対策に対して、ノウハウを持つ有識者の派遣等を通して事業プランの作成、連携体制の構築、効果・課題の検証等を行います。

3. 実施自治体及び概要

- ・ 大阪府 : ごみ拾い×ストレッチなどの運動メニューの開発・普及や回収されたごみのアップサイクルによる美化活動の活性化、給水スポット設置場所の最適化に向けた効果検証や設置場所の効果的な情報発信
- ・ 兵庫県 : 生分解性プラスチックの理解促進と代替素材としての活用促進
- ・ 山口県 : 海洋プラスチックごみを原料に、リサイクル買物かごを製作するアップサイクルを活用した普及啓発
- ・ 和歌山市 : ナッジ理論を活用した観光客を巻き込んだ海洋ごみ対策の仕掛けづくり
- ・ 真庭市 : ワンウェイプラスチックの使用抑制による、内陸部における海洋プラスチックごみ対策

4. 添付資料

- ・ ローカル・ブルー・オーシャン・ビジョン推進事業実施自治体

環境省水・大気環境局
水環境課海洋環境室
代 表 : 03-3581-3351
直 通 : 03-5521-9025
室 長 : 山下 信 (内線 6630)
室長補佐 : 飯野 暁 (内線 6631)
担 当 : 米野 栄晃 (内線 6639)

自治体	連携企業等	概要
大阪府	<ul style="list-style-type: none"> ・ミズノ株式会社 ・リサイクル事業者、プラスチック用品製造メーカー ・広告代理店 	<p>ごみ拾いをしながらストレッチや筋トレ等ができる運動メニューを開発・普及させ、楽しみながらごみ拾いを行うことや、回収されたごみを美化活動用品にアップサイクルして参加者等に還元することにより、美化活動参加者の増加を図り、持続的な取組につなげる。また、給水スポット設置場所の最適化に向けた効果検証を行うとともに、既存設置場所の効果的な情報提供を行うことでマイボトルの利用促進につなげる。</p>
兵庫県	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社カネカ ・株式会社ダイセル 	<p>生分解性プラスチックについて、一般の人々の理解の促進と代替素材としての活用を促進するとともに、高校生や大学生への講義やディスカッションにより、海洋ごみ問題を自分事化し、新たな製品の開発等を検討する。</p>
山口県	<ul style="list-style-type: none"> ・TerraCycle Japan合同会社 ・株式会社丸久 	<p>清掃活動によって回収した海洋プラスチックごみを原料に、リサイクル買物かごにアップサイクルし、地元スーパーで利用することにより、清掃活動参加者や買物客等に対する海洋ごみに関する普及啓発を推進する。</p>
和歌山市	<ul style="list-style-type: none"> ・花王株式会社等 	<p>観光地である友ヶ島（無人島）において、ナッジ理論を活用し、従来の観光客にごみを拾う側に、課題解決する側に回ってもらうための仕掛けづくりを行う。</p>
真庭市	<ul style="list-style-type: none"> ・真庭商工会 ・一般社団法人 真庭観光局 	<p>ワンウェイプラスチックの使用抑制に、キャンペーンやイベントの開催などの情報発信を通して取り組むことで、市民、観光客、飲食店等が一体となり、内陸部においても海洋プラスチックごみ対策を実践するエリアにする。</p>